

令和4年度 「まちづくり懇談会」における参加者発言要旨【市長】

これからの茅野市のまちづくりの考え方（素案）についての説明

今、茅野市の最上位の計画である第6次総合計画を策定し始めたので、こんな考え方で作り始めているということをお手元の資料に沿ってご説明したい。基本的な考え方について、このボールの一番下の方から見ていただきたいが、基本となる価値観、何を大切にするのかというところの一番下にSDGsと書いてある。

今、持続可能な社会を作っていこうという世界的な潮流の中で、いろんなことが行われている。茅野市の場合は、ここに括弧して「縄文」と書いてある。縄文時代は、約1万年にわたって人々が自然と共生しながら、なおかつ戦争がない時代だったと言われている。なぜかという、発掘された様々なものから武器と思われるものが出てこないため、人々が平和に、自然と共生しながら生きていたと言われているので、そういった縄文の人々の精神性をベースに考えていこうということ。その上に、多様性の尊重、寛容性である。多くの人々が茅野市には住んでおり、いろんな考えの方がいらっしゃる。それをお互いに認め合い尊重し合って、みんなで落としどころを探りながら、地域を活性化していく、そんな考え方がここに書かれている。

その上に、手段ということで、GX、ゼロカーボン。今、地球温暖化が非常に問題となっており、できるだけ再生可能エネルギーを使ってやっていこうと世界中が動いている。茅野市内でも、小水力発電が3、4ヶ所でやられており、太陽光発電については、屋根置きを基本とし、景観上、場所に規制をある程度かける

条例もつくりながら、景観と再生可能エネルギーをうまく両立していく形で進めている。こうした考え方は、茅野市だけでは全体としての景観が保てないので、原村や富士見とも同一步調で進め始めている。また、間伐を進め、バイオマスエネルギーとして使おうとか、バイオマス発電まではいってないが、バイオマスの給湯については、すでに東急リゾートでも行われているところ。

その上に手段として、DX とあるが、これはあくまでも目的ではなく、手段である。そして、DX はアナログの再構築とあるが、今まで茅野市が大事にしてきたまちづくりをきちんと維持発展させていくために、DX の手法を取り入れていく、そして、DX の指標を取り入れることによって、より良い便利な状況を作るということである。それから、その上に行財政改革とある。茅野市は今、財政的に決して楽な状態ではない。なぜかというと、昭和 50 年代ぐらいに茅野市は公共施設をたくさん作ってきた。元気の良い時は、1 年間に小学校を 2 校も立てるぐらいの勢いだった。基本的に茅野市は非常に面積が広くて、1 町 8 か村がベースになっているので、それぞれのところに小学校があり、コミュニティセンターもある。また、温泉施設も市内六ヶ所にあるなど、公共施設が多い市だと思っている。これが、昭和 50 年代に建てたものが 40 年くらい経つ。公共施設は、50 年が大体使用期間と見ており、建て替えや改修など何らかの手をつけないといけない施設が目白押しで、よほど慎重に考えていかないと、大変なことになってしまう。そういうことを頭の中に入れながら、計画を作りましょうということ。

そして、目標や目的は何かについて、交流という言葉がど真ん中に青い文字で書いてあるが、人が行き交うまちにしていくというのが基本的なコンセプト。例えば観光や仕事で来てもらい、来てもらったらそこできちっと活動ができる形にしていくことで、経済がしっかり循環していけばというのが基本の考え方にある。そうして、人々が行き交う中で、1 人でも 2 人でも、この茅野市に住んで

みようと思う人が出てきたり、経済が活性化し働く場所があるということで、ここで育った若い人たちが、ここに住み続けよう、または一旦はどこかへ勉強に行っても、帰ってこようと思えるまちにしていきたい。ここに暮らし続けるのに一番大事なのは、働く場所があるということ。その上で、福祉、環境、教育、医療についても充実させなければならない。「やさしい、たくましい、しなやか」とあるが、たくましいというのは、経済活動をきちんとやってある程度税収がきちんと取れるということだし、力強くこの町が前進しているということだが、基本的にはたくましくなければやさしくなることができないと思っている。なおかつ、しなやかに柔軟に物事を考えていかないと、やさしさはなかなか生まれないという意味合いである。ここに住む方々が、幸せを実現できるベースをしっかりと作っていこうという考え方で、第6次総合計画を、今、策定し始めているところ。

裏面をご覧くださいと、今ざっと説明したことを違う形で書いてある。黄色い丸の中の上に総合計画、下に総合戦略と書いてある。総合戦略はすでに2年ほど前に策定したものだが、これは即時性の高いもの、すぐやった方がいいものを中心に作った計画である。総合計画は、悪い言い方では総花的になってくるが、総合戦略が総合計画の中に包含される形をイメージしている。この計画を策定する基本的な考え方として、先にもご説明した行財政改革、それからDX・GXというものがベースとしてあるという概念図になるので、後ほどお時間があればお読みいただきたい。